

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		保育所等訪問支援事業所 えいる		公表日		令和7年3月19日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 体制・ 整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	<input type="radio"/>		お子様に合わせて、新しい教材の作成も行って います。	一人一人状況や姿も違うので、今後も増や していきたいと思います。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		法令を遵守して配置しています。	
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援事業所を併用されている場合な ど、情報交換をしながら進めるようにしてい ます。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		今年度が初めての実施でしたが、いただいた ご意見を検討し、次年度の計画に反映させて いきたいと思っています。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	<input type="radio"/>		定期的な会議を行い、情報共有を行っていま す。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		<input type="radio"/>	現在は第三者評価は行っておりませんが、今 後検討していきたいと思っています。	今後、第三者評価やアドバイザーの指導など を検討していきます。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		法人内にて経験に応じて階層別の研修の実施 や感染症対策や救急法、虐待対応などの研修 を実施しています。外部の研修会にも参加す る機会が設けられています。	
適切 な支 援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	<input type="radio"/>		保護者の方や訪問先からの聞き取り、併用が あれば他の事業所の情報の聞き取りを行いな がら作成しています。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		〃	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	<input type="radio"/>		〃	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	<input type="radio"/>		計画やねらいを共有しながら進めています。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		様々なツールを使いながら、発達段階の確 認、特性の確認などを行っています。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインを意識しながら設定を行ってい ます。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	<input type="radio"/>		計画やねらいを共有しながら進めています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	<input type="radio"/>		職員単独での訪問もありますが、会議や支援 記録などで情報共有を行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		定期的な会議を行い、情報共有を行っていま す。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	<input type="radio"/>		支援会議や訪問時などに、支援の方向性を相 談しつつ進めており、訪問先の考えを何うよ うにしています。	
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	<input type="radio"/>		訪問記録を取って、確認が行えるように努め ています。		

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1回は見直しを行っており、必要に応じて柔軟に変更や見直しも行っていきます。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		必要に応じて保護者の方、訪問先の先生、相談支援員等が参加して会議を行っています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域の自立支援協議会が行う会議や勉強会への参加等も積極的に行って、繋がりができるようにしています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者の方のご要望を聞きながら、相談支援事業所とも一緒に移行支援会議等を開催しています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		法人内の児童発達支援事業所と放課後等デイサービス事業所にアドバイザーが入っており、合同の勉強会で内容の共有や知識向上に努めています。外部研修にも参加しています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		積極的に参加し、地域の課題の共有や解決に向けての動きなどを行っています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		保護者の方に毎回直接お会いすることは難しい事業ですが、連絡帳やメールなど活用するようにしています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		法人内の事業所合同で、保護者向け子育て勉強会や倉敷市のかがやき手帳を書く会を実施をしています。保護者の方の子育ての悩みを共有し、解決するヒントをお伝えしています。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用開始前、契約時にお時間をいただいて詳細をお伝えさせていただいています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		お時間をいただいて、ご説明をさせていただいています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者の方の意向を確認したり、お子様の気持ちを聞いたりしています。お子様が表現しづらい場合は選択肢を示すなど配慮しています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		目標や支援方法など説明させていただき、同意を得ています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		面談や連絡帳、メールなどでも対応をさせていただいています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保育所等訪問支援事業所単独では行っていませんが、法人内で兄弟児支援等を実施しています。	今後、合同開催などを検討していきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速に対応できるように電話やメール等を活用して行っています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		SNSや広報誌がありますが、お知らせをしたり活用したりすることが不足しておりますので、今後改善をしていきたいと思えます。	事業所の取り組みを知っていただけるようにお便りやメールなどを活用し、工夫していきます。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		パソコン・書類など個人情報は十分に注意して管理しています。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		それぞれのケースに合わせて、分かりやすい伝え方ができるように工夫しています。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問時に変化や対応に困っていること等をお聞きし、一緒に考えさせていただくこと等を行っています。	

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		立ち話で短時間の時もありますが、情報交換や振り返りをしています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		記録やメールなどで共有をさせていただいています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		他児への説明等も、ケースごとに配慮しています。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		訪問先の先生方がされている支援の良いところを見つけてフィードバックできるようにも心がけています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	それぞれのマニュアルがあり、それに基づいて訓練を行っています。ご家族への周知が十分でなかったため、改善していきたいと思えます。	事業所の取り組みを知っていただけるようにお便りやメールなどを活用し、工夫していきます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		法人内には安全衛生委員会があり、定期的な会議を実施しています。また研修へ参加するなどして、安全への意識を高めるように配慮しています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの書式があり、それに応じて対策を講じています。万が一、訪問先で発生した場合は即座に訪問先の責任者の方に報告・相談をさせていただきます。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内には虐待防止委員会があり、定期的な会議を実施しています。また研修へ参加するなどして、人権への意識を高めるようにしています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		委員会を設置しており、対応を行う事になっています。現在、対象例がありませんが、発生した場合は対応させていただきます。	